

## 吹奏楽指導者認定試験 問題例

### 3級

第1問 次の問[A]と問[B]に答えなさい。

問[A] 次の文章中の(A)～(E)に該当する語句を、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

高さの違う2つの音のへだたりのことを( A )という。( A )は、「度」という単位で表し、幹音(七音音階を構成する音)同士が、それぞれの音を含めて、何個の幹音にまたがっているかを数字で表す。したがって、幹音が同じ高さの2音は( B )度となる。

( A )の度数は、その性格、へだたりの違いを表すために、度数の前に、( C )とか、( D )・( E )といった言葉をつける。これらの言葉は、どの度数に対しても用いられるのではなく、( C )と、( D )・( E )の2つの付け方のパターンに分類される。( C )は、基本的に( B )・4・5・8 度に付けられる。( D )・( E )は、基本的に2・3・6・7 度に付けられる。

問[B] 次の文章中の(1)～(5)に該当する語句を、選択肢(ア)～(コ)から選んで、解答用紙の所定の欄に記号を記入しなさい。

指揮の動作で重要なのは、「点」であるとされる。齋藤秀雄が著した『指揮法教程』によると、指揮の動作は、「点」を境に( 1 )と( 2 )に分けられる。( 1 )は、点に向かって加速する動作であり、( 2 )は、点からはね上げて減速する動作である。

齋藤秀雄の『指揮法教程』によると、指揮の基本的な技法である間接運動には、( 3 )と( 4 )、( 5 )の3つの運動がある。( 3 )は、アクセントの強いリズムがはっきりした曲の時に用いられる。( 4 ) ( 5 )は、ともにアクセントの弱い曲に用いられることが多い。しかし、( 4 )は( 1 )と( 2 )に加速・減速があるのに対して、( 5 )は、( 1 )と( 2 )に加速・減速がないという違いがある。

(選択肢は省略)

第2問 次の楽曲の作曲者を、選択肢(A)～(J)から選んで、解答用紙の所定の欄に記号を記入しなさい。

- (1) ファンファーレとアレグロ
- (2) アルヴァマー序曲
- (3) 雷神
- (4) バラの謝肉祭
- (5) シンフォニア・ノビリッシマ

(選択肢は省略)

第3問 次の(1)(2)の作品、(3)(4)の作曲家について、あなたの知るところを述べなさい。

- (1) 「古いアメリカ舞曲による組曲」
- (2) 「吹奏楽のための第二組曲 へ長調」
- (3) パウル・ヒンデミット
- (4) ダリウス・ミヨー

第4問 次の(1)～(10)の音楽用語の意味を、それぞれ解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

- |               |                  |               |            |                 |
|---------------|------------------|---------------|------------|-----------------|
| (1) cantabile | (2) articulation | (3) Tempo I   | (4) dolce  | (5) meno        |
| (6) grave     | (7) sempre       | (8) brillante | (9) simile | (10) diminuendo |

第5問 次の(1)～(6)の演奏法に関する用語の意味を、それぞれ解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

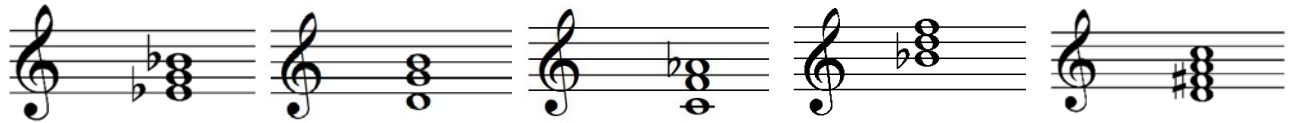
- |             |            |         |             |               |
|-------------|------------|---------|-------------|---------------|
| (1) tremolo | (2) tenuto | (3) tie | (4) vibrato | (5) pizzicato |
| (6) slur    |            |         |             |               |

第6問 次の(ア)～(エ)の速さを示す用語を、速さの遅い順になるように並べ変え、解答用紙の所定の欄に記号で記入しなさい。

- (ア) Andante (イ) Allegro (ウ) Adagio (エ) Largo (オ) Presto

第7問 次の(1)～(5)の欄にそれぞれ記載されている和音のコードネームを解答用紙の( )内に記入しなさい。

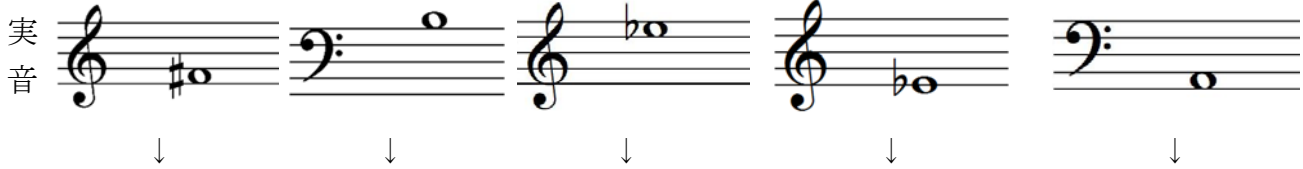
(1) (2) (3) (4) (5)



第8問 解答用紙の(1)～(5)の欄にそれぞれ記載されている音について、指定された楽器で演奏する場合の音を、実音と同じ音の高さになるように、全音符で記入しなさい。なお、半音の上下の必要がある場合には、調号を用いずに臨時記号を用いなさい

(1) (2) (3) (4) (5)

実音



↓ ↓ ↓ ↓ ↓

記譜音 B ♭ Clarinet F Horn E ♭ Clarinet B ♭ Tenor Saxophone E ♭ Baritone Saxophone

第9問 解答用紙に記載されている(1)および(2)の旋律について、指定された楽器で演奏する場合の旋律を、実音と同じ音の高さになるように、音部記号も含めて記入しなさい。なお、指定楽器は下記の通りである。

- (1) [楽譜省略] c moll・2/4 拍子・8 小節・ト音記号 指定楽器: Clarinet in E ♭  
 (2) [楽譜省略] C Dur・3/4 拍子・8 小節・へ音記号 指定楽器: Alto Saxophone in E ♭

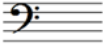

## 2級

第1問 次の(1)～(10)の用語の意味を、それぞれ解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

- (1) mosso (2) capriccioso (3) agitato (4) espressivo (5) pastorale  
(6) sempre (7) sentimento (8) polyphony (9) tranquillo (10) grazioso

第2問 次の文章中の(1)～(4)に該当する語句または音符を、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。なお、音符を書き込む場合は、音部記号も含めて全音符で記入しなさい。

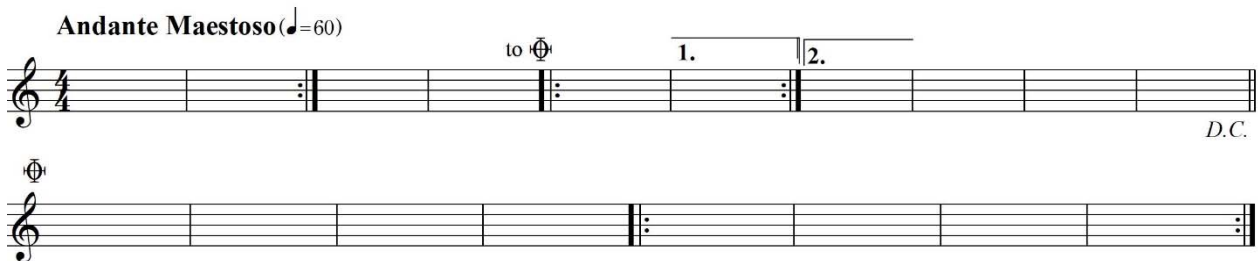
楽器でひとつの音を鳴らすと、実際には、鳴っている音だけではなく、その音の振動数の2倍、3倍、4倍の音も同時に鳴り響いている。この楽器で鳴らした音以外の共鳴している音を( 1 )という。例えば、鳴らした音の2倍の振動数の( 1 )は、完全8度上の音となる。

この法則に従えば、鳴らした音が  の場合、振動数が3倍の音は( 2 )、振動数が4倍の音は( 3 )、 振動数が5倍の音は( 4 )となり、それぞれの( 1 )が同時に鳴り響いていることになる。

第3問 次の(A)～(C)の楽譜を演奏したときの演奏時間を、それぞれ解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

(A)


**Andante Maestoso** (♩=60)



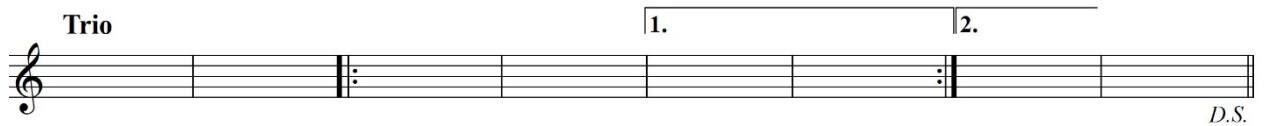
D.C.

(B)

March (♩=120) ※



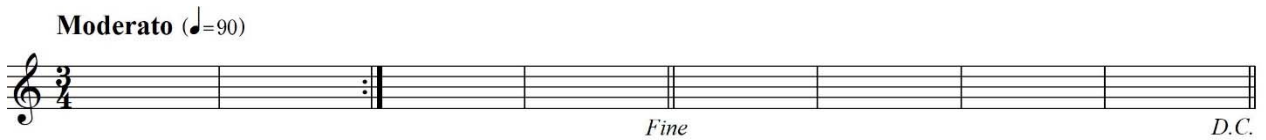
Trio



D.S.

(C)

Moderato (♩=90)



Fine D.C.

第4問 次の文中の(a)~(e)に当てはまる調名を、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。ただし調名は、ドイツ語名で答えること。

- (1) 変ホ音を属音とする長音階を B ♭ Clarinet で演奏するとき、楽譜は、( a )で記譜されている。
- (2) へ長調の属音を下属音とする短音階を、E ♭ Baritone Saxophone で演奏する場合、楽譜は、( b )で記譜されている。
- (3) 下属調が As Dur のとき、その主調の平行調を、B ♭ Clarinet で演奏するとき、楽譜は、( c )で記譜されている。
- (4) 平行調が d moll のとき、その主調の下属調を E ♭ Clarinet で演奏するとき、楽譜は、( d )で記譜されている。
- (5) ( e )の下属調の平行調を、B ♭ Trumpet で演奏するとき、楽譜は、F Dur で記譜されている。

第5問 次の(1)~(10)の楽曲の作曲者を、以下の選択肢から選んで、解答用紙の所定の欄に記号で答えなさい。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| (1) 飛鳥           | (2) 古祀          |
| (3) ムーアサイド組曲     | (4) ハリソンの夢      |
| (5) 紅炎の鳥         | (6) この地球を神と崇める  |
| (7) ブリュッセル・レクイエム | (8) ソング・アンド・ダンス |
| (9) アルプスの詩       | (10) 宇宙の音楽      |

(選択肢は省略)

第6問 次の(1)の作品、(2)の作曲家について、あなたの知るところを述べなさい。

(1) 「ルイ・ブージョワの讃歌による変奏曲」

(2) 團 伊玖磨

第7問 以下の(1)～(5)の欄にそれぞれ記載されているコードネームを、解答用紙の指定された欄の五線譜に全音符で記入しなさい。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
F <sub>sus4</sub>	G <sub>m7</sub>	B <sup>b</sup> <sub>aug</sub>	A <sup>b</sup> <sub>M7</sub>	D <sup>b</sup> <sub>7</sub>

第8問 次の(1)～(5)の楽譜の和音のコードネームを、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

(1)

Trombone 1

Trombone 2

Trombone 3

(2)

Horn in F

(3)

Clarinet in B<sup>b</sup>

Alto Clarinet in E<sup>b</sup>

Bass Clarinet in B<sup>b</sup>

(4)

Alto Saxophone in E<sup>b</sup>

Tenor Saxophone in B<sup>b</sup>

Baritone Saxophone in E<sup>b</sup>

(5)

Flute

Oboe

Clarinet in B<sup>b</sup>

Horn in F

Bassoon

第9問 楽譜の指定された場所を、編成表をもとに編曲しなさい。なお、解答用紙に記載されている音部記号は変更しないこと。

【編成表】

Piccolo	E <sup>b</sup> Baritone Saxophone
Flute (1.2)	B <sup>b</sup> Trumpet (1.2.3)
Oboe	F Horn (1.2.3.4)
Bassoon	Trombone (1.2.3)
E <sup>b</sup> Clarinet	Euphonium
B <sup>b</sup> Clarinet (1.2.3)	Tuba
E <sup>b</sup> Alto Clarinet	String Bass
B <sup>b</sup> Bass Clarinet	Timpani
E <sup>b</sup> Alto Saxophone	Percussion
B <sup>b</sup> Tenor Saxophone	

【注意事項】

- ① 全ての楽器を使う必要はない。
- ② 時間の関係で、同じパート内では col.等の省略記号を用いることは認める。
- ③ 解答用紙に記載されている音部記号は変更しないこと

(〔楽譜省略〕管弦楽曲：C Dur・4/4 拍子・Allegro・4 小節)

# 1級

第1問 次の(1)の項目について、あなたの知るところを述べなさい。

(1) ジョン・フィリップ・スーザとスーザ吹奏楽団

第2問 次の問[A]と問[B]に答えなさい。

問[A] 【楽譜A】を見て、次の文章中の(a)~(e)に該当する語句を、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。ただし、調名を解答する場合は、ドイツ語名で記入すること。

## 【楽譜A】

B<sup>b</sup> Soprano Sax

E<sup>b</sup> Alto Sax

B<sup>b</sup> Tenor Sax

E<sup>b</sup> Baritone Sax

(ア)

Sop. Sax.

Alto Sax.

Ten. Sax.

Bar. Sax.

(イ)

【楽譜A】は、曲の途中で転調している。(ア)の部分は( a )に、(イ)の部分は( b )に転調している。



(ア)の部分は、【楽譜 A】の原調からみると、( c )調の関係になっており、同様に、(イ)の部分は、【楽譜 A】の原調からみて( d )調の( c )調の関係にある。したがって、(イ)の部分は、【楽譜 A】の原調からみて、近親調ではなく、( e )調に転調していることになる。

問[B] 【楽譜 B】を見て、次の文章中の(1)～(5)に該当する語句を、(1)、(3)、(4)は下記の【選択肢】から選んで、(2)は該当する調名をドイツ語で、(5)は該当する和音の番号を2つ選んで解答しなさい。

【楽譜 B】

【楽譜B】の⑥の和音の和声進行における役割は( 1 )であるが、⑥と⑦の間は【楽譜B】の近親調の和声進行とみることもできる。⑥と⑦の間を近親調である( 2 )としてみたとき、⑥の和声進行における役割は( 3 )、⑦の和声進行における役割は( 4 )となる。【楽譜B】に⑥の和音と同じ役割をしている和音は、( 5 )の2つある。

【選択肢】

- A. トニック      B. サブ(プレ)ドミナント      C. ドミナント

第3問 次の(1)の作品、(2)の作曲家について、あなたの知るところを述べなさい。

- (1) 「新・祝典行進曲」  
 (2) ヴァスラブ・ネリベル

第4問 解答用紙に記載されている(1)～(5)の旋律について、それぞれ指定された楽器で演奏する場合の旋律を、実音と同じ音の高さになるように、音部記号も含めて記入しなさい。なお、それぞれの旋律を演奏している楽器と指定楽器は、次の表の通りである。

番号	演奏楽器	指定楽器	
(1)	English Horn	Tenor Saxophone in B ♭	B Dur・3/4 拍子・Poco Vivo・10 小節
(2)	Clarinet in A	Clarinet in B ♭	F Dur・6/4 拍子・Très Lento・8 小節
(3)	Viola	Alto Saxophone in E ♭	C Dur・3/4 拍子・Allegretto con moto・12 小節
(4)	Violoncello	Tenor Saxophone in B ♭	C Dur・3/4 拍子・Sehr schnell・11 小節

[楽譜省略]

第5問 次の楽譜の指定された場所を、編成表をもとに編曲しなさい。なお、解答用紙に記載されている音部記号は変更しないこと。

【編成表】

Piccolo	E ♭ Baritone Saxophone
Flute (1.2)	B ♭ Trumpet (1.2.3)
Oboe	F Horn (1.2.3.4)
Bassoon	Trombone (1.2.3)
E ♭ Clarinet	Euphonium
B ♭ Clarinet (1.2.3)	Tuba
E ♭ Alto Clarinet	String Bass
B ♭ Bass Clarinet	Timpani
E ♭ Alto Saxophone	Percussion
B ♭ Tenor Saxophone	

【注意事項】

- ① 全ての楽器を使う必要はない。
- ② 時間の関係で、同じパート内では col.等の省略記号を用いることは認める。
- ③ 解答用紙に記載されている音部記号は変更しないこと

([楽譜省略]管弦楽曲:C Dur・4/4 拍子・Ancora piu vivo・12 小節)